



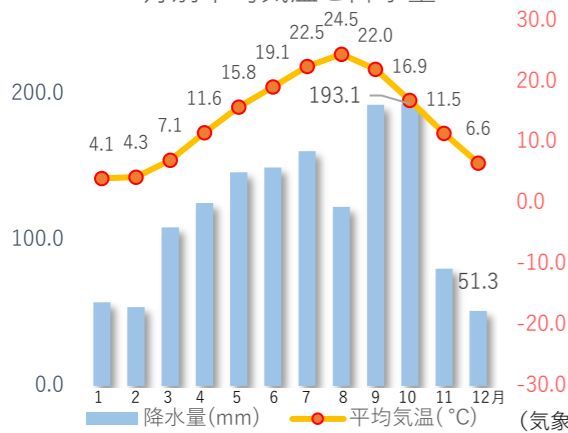
管内概況

位置及び地勢



気候

月別平均気温と降水量



人口及び面積



いわきの農林業

Agriculture and Forestry of IWAKI

当事務所が所管するいわき市は、福島県の南東部に位置し、標高0～964.4m、東西39.0km、南北51.5kmの規模を持つ広域都市です。

東は太平洋に面し、南は茨城県に接しており、西の阿武隈高地を水源とする夏井川、鮫川等が太平洋に注いでいます。

交通体系は、南北に常磐自動車道・国道6号とJR常磐線が縦断し、東西に磐越自動車道・国道49号とJR磐越東線が横断するほか、海の玄関口として重要港湾小名浜港を有しています。

気候は、海洋の影響で年間を通して気温較差が比較的少なく、年間平均気温は約14℃です。また、日照時間は年間2,000時間を超える本県で最も温暖な地域です。

降水量は全国平均より少なく、年間総降水量は1,400mm程度です。また、降雪は山間部を除きほとんどありません。

いわき市は、昭和41年10月石城地方の5市3町4村と双葉郡の1町1村の合併により誕生した広域都市です。

面積は1,232.02km²で県土の8.9%、人口は令和8年3月1日現在311,928人で県人口(1,707,767人)の18%を占めており、市町村別人口は第2位です。

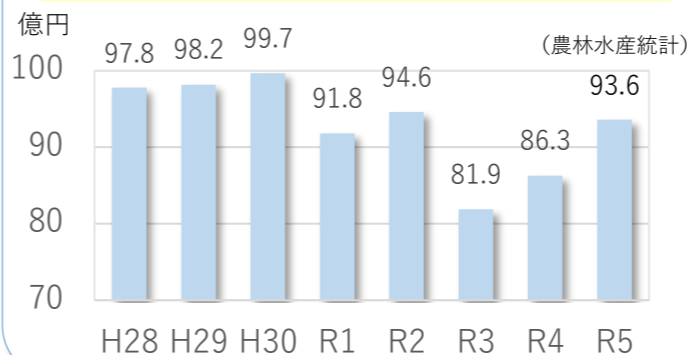
また、平成11年4月1日、県内では郡山市に次いで2番目に中核市に移行しました。

農業産出額の推移

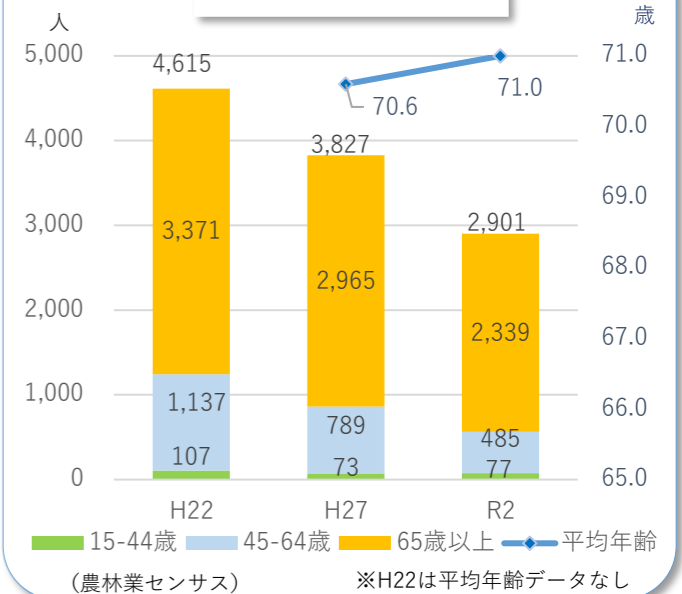
いわき市の農業産出額の推移

震災後増加傾向にあったが、R1は東日本台風等の被害、R3は米価下落の影響等により減少した。R5は米等の価格上昇の影響により増加したとみられる。

R5 93億6000万円 (県内9位)

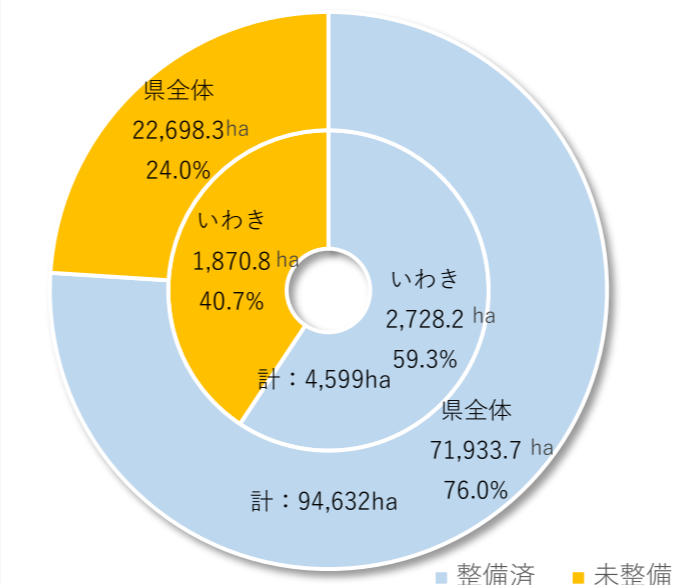


基幹的農業従事者



水田の整備面積と整備率 (R6)

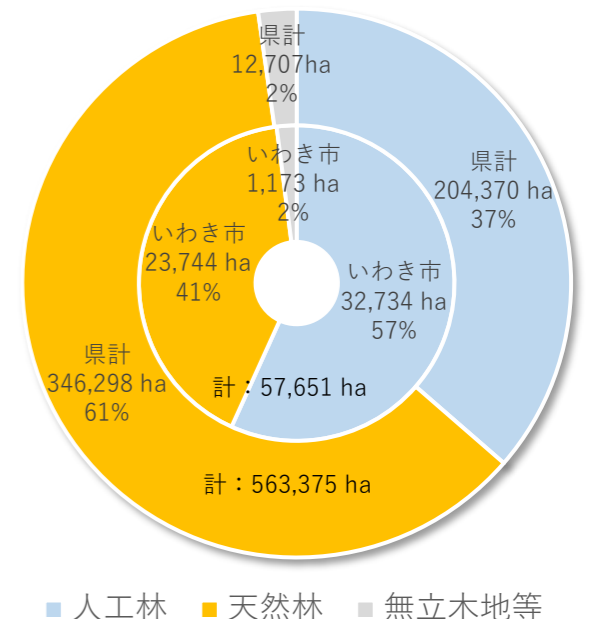
(農村基盤整備課調べ)



・対象面積は「農用地区域の農地面積(令和5年12月31日時点)」による
・東日本大震災に伴う津波被災分を考慮している

民有林相別森林面積 (R6)

(福島県森林・林業統計書)



2 持続的な発展を支える 生産基盤の整備と担い手の確保

(1)農業を支える担い手の確保・集落営農の推進

ア 多様な担い手の確保・育成
イ いわき地域就農支援センターとの連携

- 認定農業者数：255経営体（R7.12月末）
- 新規就農者数：4名（R6.5.2～R7.5.1）
※雇用就農除く
- 新規就農者育成総合対策 活用者数
（経営開始） 7名（R7） 10名（R8）
（初期投資） 1名（R7） -
（経営発展支援） 2名（R7） 3名（R8）
- 農業法人数：89法人（R8.3月末）
- 担い手への集積面積：2,540ha（R7.3月末）
- 地域計画作成済み：129地区（R7.3月末）



就農相談会



法人への経営指導

(2)生産基盤の整備

ア ほ場整備と広域農道整備の推進

- 農地中間管理事業
山田地区、神谷地区、神谷第二地区、
瀬戸地区、大野第三地区
- 広域営農団地農道整備事業（広域農道）
全長 L=9,823m（R7まで:9,339m,95%）



整備中の農道（いわき地区）



整備された森林（田人地区）

イ 森林整備と林道等路網整備の推進

- 森林整備：493ha(R6)
森林環境保全整備事業、ふくしま森林再生事業、森林環境基金森林整備事業など
- 路網整備：976km(R5までの総延長)
森林居住環境整備事業、林業専用道整備事業など



整備中の林道（永井川前線）

生産活動の拡大

3 地域の特性をいかした安全・安心な農林水産物の提供

(1)主要園芸品目の産地充実・強化

ア いちご 生産技術の高位平準化による安定生産
イ ねぎ 高温対策と栽培管理指導
ウ トマト 高温対策と病害虫対策
エ ピーマン 難防除害虫対策
オ 日本なし 生産性向上のための改植・ジョイント栽培導入
カ りんどう 栽培管理技術習得と適期防除
キ トルコギキョウ 団体活動支援、技術の高位平準化

- いちご「ふくはる香」
単収 2,721kg/10a(R7)
- ねぎ 秋冬ねぎ
単収 1,378kg /10a(R7)
- トマト 単収 水耕27t/10a (R7)
単収 土耕11.9t/10a(R7)
- ピーマン 単収 1.8 t/10a(R7)
- 日本なし
ジョイント栽培導入面積 201a(R7)
- りんどう 収穫本数 4.4本/株(R7)
- トルコギキョウ 栽培面積 16.9a(R7)



梨ジョイント栽培研修会



いわき地方GAP推進協議会

(2)農産物及び生産活動の安全確保

ア 事業活用によるGAP認証取得の推進
(ア)推進体制の整備(いわき地方GAP推進協議会)
(イ)JA生産組織、大規模法人への取得誘導

- GAP認証取得経営体数 49経営体(R8.3月末)

(3)豊かな森林資源をいかした主伐・再造林の推進

ア 主伐から再造林までの一貫施業システムの導入による作業の効率化

イ 主伐・再造林の取組支援

- 人工林率 57%（県平均36%）
- スギ人工林の9割弱が10齢以上



一貫作業による再造林

流通・販売の強化

ブランド力の強化

(4)輸出への取組

ア「サンシャインいわき梨」のベトナム輸出(H29～)
(ア)JA、JA梨生産部会、いわき市、ジェットロ等の連携
(イ)販路拡大

- R2実績 5.9t（幸水、豊水、新高）※R3休止
- R4,R5実績 4.0t（豊水、新高）
- R6,R7実績 2.5t（豊水、新高）



サンシャインいわきなし・ロゴマーク（登録日：R2.1.7）

(5)県産農産物のPR

「おいしい ふくしまいただきます！」
キャンペーン

GAP認証農産物のPR、地産地消の推進、消費者理解促進



キャンペーンの様子

- キャンペーン開催回数
R7 4回（6月,8月,11月,2月）

(6)6次化商品の開発支援

ア ふくしま地域産業6次化サポートセンターとの連携

イ 高校生発！Iwakiならではのグルメをつくろう
(ア)若者の発想力を生かしたレシピ開発
(イ)地元農産物の魅力発信

- レシピ応募総数 6校 59作品（R7）



高校生と飲食店の共同開発商品

(7)森林資源の循環利用の推進

高い人工林率や活発な木材産業などを活かした関係者の連携強化、大径材等の活用による森林・林業の活性化

- 素材生産量(民有林) 145,873m³（R5）



大径材を活用した建築物

(8)ブランド力強化の推進

農林水産部公式You Tubeチャンネル（1400のネタばらし）の動画制作

- 動画公開数 75本（R8.3月末現在）※累計



「1400のネタばらし」動画公開

4 地域の特性をいかした農山漁村の形成

(1)防災・減災対策

ア 防災重点農業用ため池 164箇所
(ア)劣化状況評価、豪雨・地震耐性評価
追加指定の1箇所を除き、完了
(イ)防災工事 4地区で実施中(R7～R10)



萱手池(泉町下川)

イ 山地災害防止
(ア)県土保全上重要な森林を保安林に指定
(イ)治山施設等整備
事業実施箇所数（R7） 10箇所



治山施設(五郎兵衛釜地区)

(2)農山漁村の多面的機能の発揮

ア 若い世代の意識醸成
(ア)インターンシップ研修の開催
(イ)いわきの地域農業を支えるひとつづくり事業
(ウ)県民参加の森林づくり



インターンシップ研修とひとつづくり事業

- 森林づくり意識醸成活動参加者数
13,503名（R6）

イ 田んぼダムの取組 5組織（R7）
ウ 鳥獣被害対策

- 電気柵等設置指導集落数 6箇所/年(R7)



森林づくり活動

1 東日本大震災及び原子力災害からの復興

大震災（津波・地震）からの復旧・復興

- 1) 農林水産業に関する情報発信
- 2) 出荷制限等品目のモニタリング検査
- 3) 製材品表面線量調査
- 4) いわき産農林産物の販売促進
- 5) 出荷管理状況調査



いわき農林水産ニュースによる情報発信

1 農業振興の取組

(1) 気象条件を生かした園芸品目の推進

ア いちご

- (ア) いちごの栽培面積は3.6ha、うち観光いちご園が1.4ha
- (イ) 県オリジナル品種「ふくはる香」の導入面積が約46%
- (ウ) 高設養液栽培導入による省力化の取組

イ 大型トマト施設の導入

- (ア) 温暖で豊富な日射量を生かし、補助事業を活用したトマト施設の導入 (R7年度実績 8経営体、8.43ha(園芸振興プロジェクト))

- (イ) 6経営体※+市場・JAで「サンシャイトマト出荷協議会」を構成、「サンシャインいわきトマト」ブランドとして、県内外に出荷、販売

※農事組合法人 大野水耕生産組合、(有)とまとランドいわき、あかい菜園(株)、(株)JRとまとランドいわきファーム、

(株)ネクストファームいわき、(株)ナラハプラントファクトリー

- (ウ) 令和2年1月にロゴマークが商標登録、PR面で大きな効果

ウ 養液栽培施設の導入

- (ア) 養液栽培の大半がトマトで、その他はいちご、葉ねぎ等
- (イ) 環境制御装置を導入した養液栽培による長期出荷、安定多収・高品質化、作業の省力化の取組

エ 中山間地域での園芸振興

中山間地域の冷涼で寒暖差が大きい気象条件に適した園芸品目を推進
ピーマン (全域) : 軽量で栽培しやすく、高齢者でも収穫が容易
りんどう (川前、小川) : 寒暖差が大きいことから花卉の発色が良い



トマトハウス内の状況

(2) いわき産農林産物のPR

ア 地産地消・食農教育・消費拡大の取組

- (ア) 学校給食における県産農林産物の活用 (地産地消率・グラフ右下)
- (イ) ふくしま食育実践サポーター登録: 25の個人又は団体 (R8.3月現在)
- (ウ) 「ふくしまプライド。」県産農林水産物販売力強化支援事業 (H27~) 販売促進活動や商品の魅力向上の取組を支援 (R7: 5団体)
- (エ) 「おいしいふくしまいただきます!」キャンペーン (H23~) 地元農林産物の魅力やGAPの取組をPR (R7: 4回実施)



食育実践サポーター派遣事業

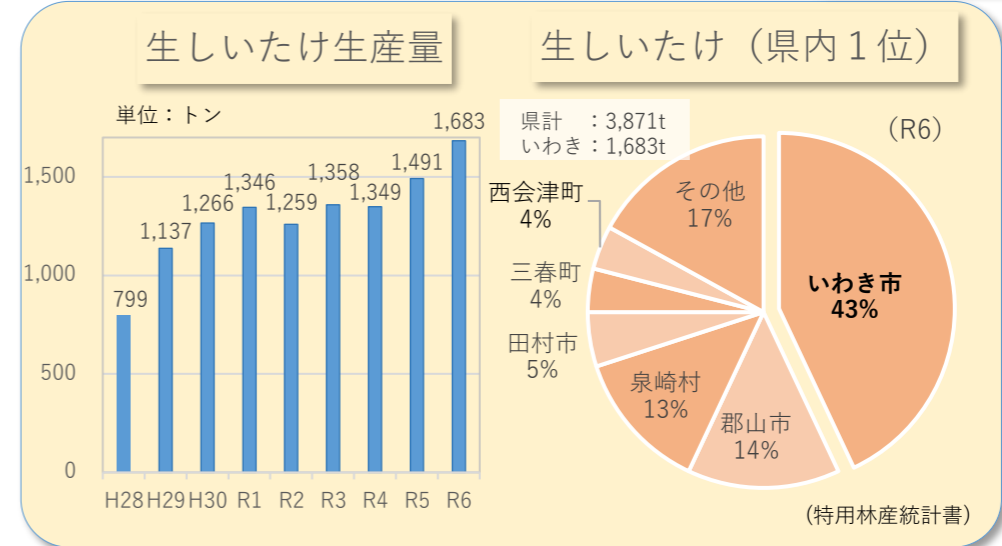
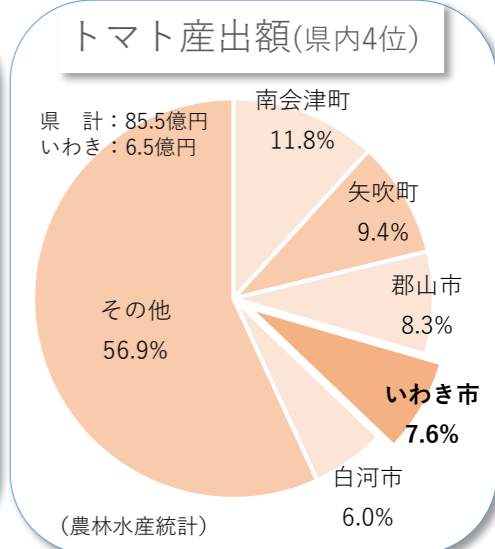
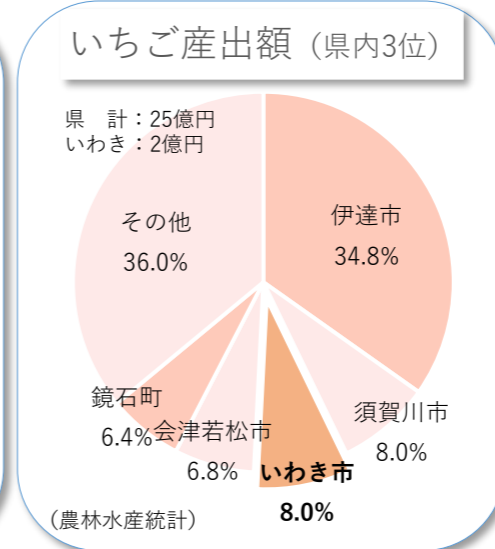
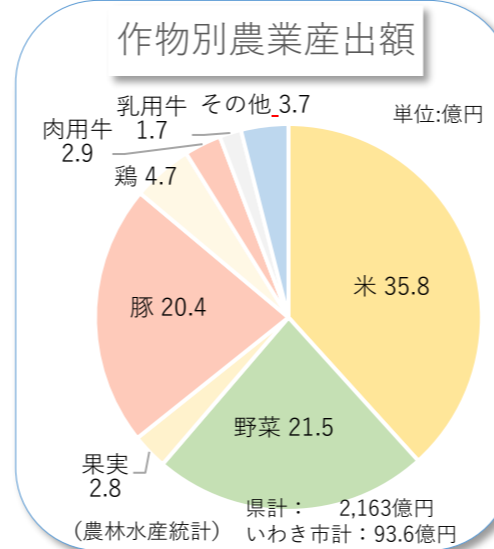
イ 地域産業6次化の取組

- (ア) 高校生発! Iwakiならではのグルメをつくろう事業 (R5~)
- (イ) いわき地域産業6次化ネットワーク会員数 289名 (R8.3月末現在)
- (ウ) ふくしま地域産業6次化サポートセンターとの連携 6次化ステップアップ強化事業

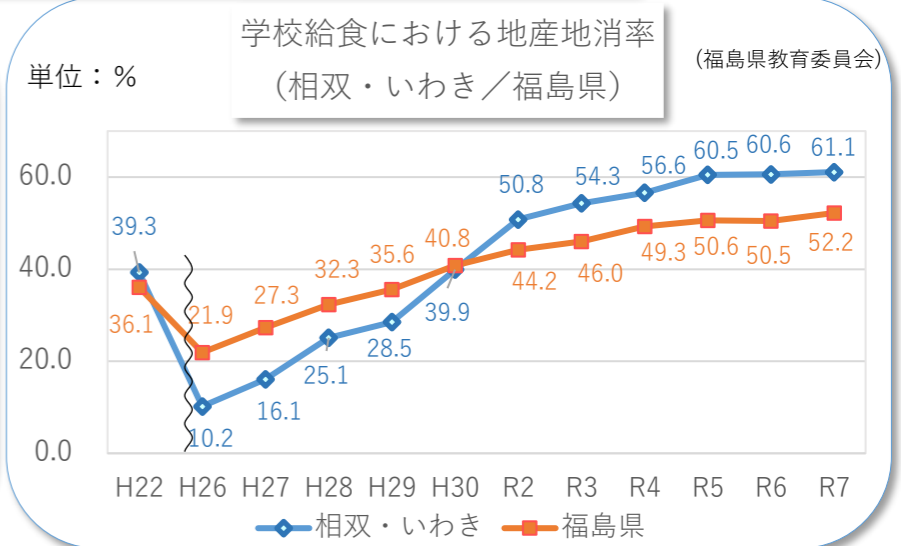
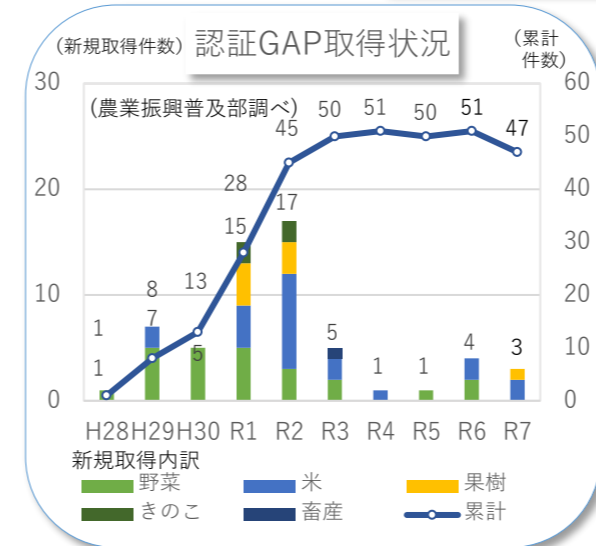


高校生発! Iwakiならではのグルメをつくろう事業お披露目会

2 いわき市の主な農林産物 (令和5年度産出額等)



3 「いわきならではの」の魅力PR



1 農村整備の取組

(1) 生産基盤の整備

ア ほ場整備の推進

- ・整備内容 → 農地の大区画化・汎用化（田畑転換）、用排水路の装工等
 - ・営農の変化 → 大型機械の導入による効率化、高収益作物の導入、維持管理の省力化
 - ・地域への効果 → 農地中間管理機構による担い手への農地集積、集約化を加速。
- [R8実施地区] 山田地区、神谷地区、神谷第二地区、瀬戸地区、大野第三地区**
R8管内整備予定面積 A=25.5ha



ほ場整備（神谷地区）

イ 安定的な用水供給の維持

- ・農業水利施設（幹線用水路、取水堰、揚水機場）の現状 → 多くの施設が高度成長期に造成。老朽化が進行し、突発事故のリスクが増加。
- ・効率的な補修・更新に向けて → 機能診断等により現状を把握し、補修・更新の方針や時期を定める機能保全計画を定め、適時工事を実施。

[R8実施地区] 鮫川堰地区（鮫川堰用水路）

受益面積※ A=59.4ha

※ 完了時に用水供給が維持される面積

[R8機能保全計画作成地区] 鮫川堰地区（用水路1路線）



水利施設の整備
（夏井川左岸2期地区）

ウ 広域農道整備の推進

- ・効果 → 農産品物流の効率化（小川地域⇄四倉地域）、沿線農地での利便性向上等
- [R8実施地区] いわき地区 供用済延長 L=9,339m**



(2) 地域の特性を生かした農山漁村の形成

ア 防災減災対策 ～防災重点農業用ため池～

- ・防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法 → R2～R13までに防災工事等を集中的、計画的に推進

[R8実施地区] 防災工事 N=4箇所

イ 農山漁村の多面的機能の発揮

- ・農村の現状 → 過疎・高齢化等により集落機能が低下し、多面的機能の発揮が困難。
 - ※多面的機能：国土保全、水源かん養、洪水調整（田んぼダム）、良好な景観形成等
 - ・機能の維持・発揮に向けて → 地域の共同活動（水路の泥上げ、草刈り等）を支援。
- [R8活動組織] 60組織**

多面的機能支払交付金事業の取組



生きもの調査

ウ 「生きもの調査」の取組

- ・取組 → 小学生を対象に、農業用水路など身近な自然環境を学び、農業・農村の大切さの理解を深めてもらう。

[R8実施] 1校

2 取組状況

ほ場整備（農地中間管理機構関連農地整備事業）

実施地区

地区名	工期	受益面積	集積率		導入する高収益作物
			事業前→完了時	増分	
山田	R2-R8	41.7ha	31.2% → 82.8%	51.6%増	ネギ2.6ha
カベヤ 神谷	R3-R9	43.4ha	24.3% → 85.3%	61.0%増	キャベツ3.3ha 白菜3.3haほか
カベヤ 神谷第二	R5-R12	67.6ha	14.6% → 88.9%	74.3%増	イチゴ0.7ha ネギ1.2ha
瀬戸	R6-R11	35.3ha	28.0% → 83.3%	55.3%増	イチゴ0.2ha トルコギョウ0.1haほか
大野第三	R8-R17	115.3ha	48.0% → 93.8%	45.8%	ニラ1.4ha ピーマン2.1haほか

調査計画地区

地区名	調査年度	採択目標	想定受益面積
赤沼	R5-R6	R9	77.2ha
スギナミ 菅波	R6-R8	R10	57.6ha

防災重点農業用ため池に係る防災工事等推進計画（R8.2.26策定）

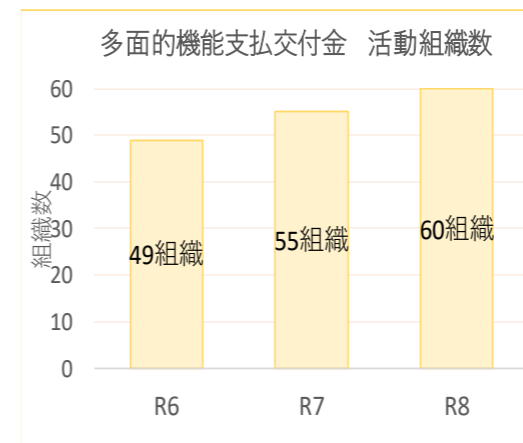
管内164箇所

劣化状況等評価	計画	前期					後期				
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
※1	計画					完了					
※1	実績及び予定				163箇所完了		1箇所				

防災工事着手	計画	前期 4 箇所			後期 3 箇所		
		実績及び予定			4箇所		1箇所

※1 劣化状況等評価、地震・豪雨耐性評価

※2 R8.3追加指定



「生きもの調査」の取り組み状況

（令和4年以降）

年度	実施校	参加人数
R4	勿来第三小	7
R5	勿来第三小	9
R6	夏井小	11
R7	夏井小	18
R8予定	大浦小	60

1 森林・林業・木材産業の取組

(1) 大径材等の活用による森林・林業の活性化

いわきにおける私有林のスギ人工林面積は10齢級以上が全体の87%を占めており、大きく成長した材の有効利用を図るため、大断面製材品等を活用する取組を実施。

ア 無垢大断面スギJAS製材の普及

JAS認定や準耐火認定を取得した無垢大径材の普及に係る取組の支援を実施。大断面スギJAS製材の活用が広がっている。



大径材加工設備

イ 大径材加工設備の整備

非住宅建築物への木材利用を推進するため、加工設備の整備を支援。当該設備により加工した大径材等を用いた中・大規模木造建築物の建設が県内外で進んでいる。



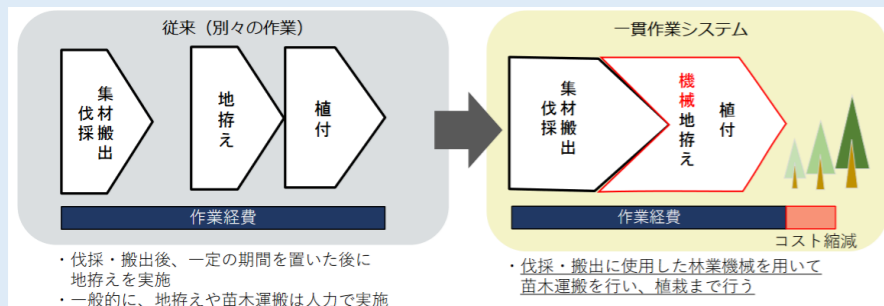
大径材を活用した木造建築物

(2) 主伐・再造林の推進

森林の主伐・再造林を進めるため、施業の効率化を図る主伐から再造林までの一貫作業システムの導入を推進するとともに担い手確保の取組を実施。

ア 森林機能維持事業における一貫作業システムによる伐採・再造林及び再造林・下刈（初回分）の取組に対する支援。

イ 高校生を対象とした林業現場見学会を開催し、林業の担い手確保の取組を促進。



高性能林業機械の見学



菌床しいたけの発生状況

(3) 生しいたけの生産振興

安全・安心なしいたけの生産に向けた取組に対する支援を実施。

2 林業の基盤整備と山地災害防止の取組

(1) 林道等路網の整備

木材等の林産物の搬出や森林の適正な管理、林業経営に必要な資材や機械の運搬を効率的に行うため、重要な基盤となる林道や作業道などの路網整備を実施。



治山施設 (川向地区)

(2) 治山事業の実施

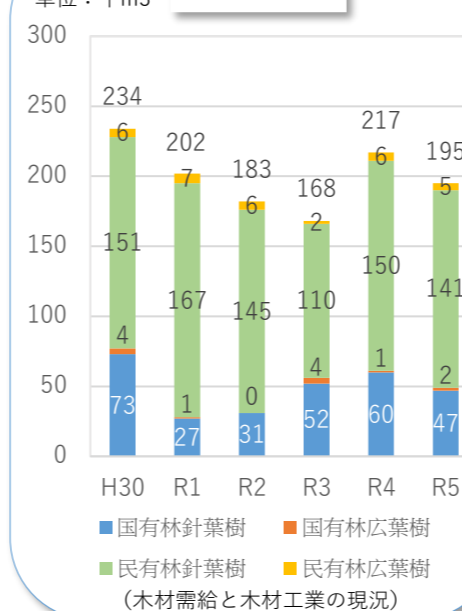
森林の適正な維持・造成を通じて、山崩れや土石流等の山地災害の防止や復旧を行うとともに、水源かん養機能や保健休養機能などの森林の有する様々な機能を向上させるため、治山事業を実施。

【令和7年度森林土木工事等一覧表(県営)】

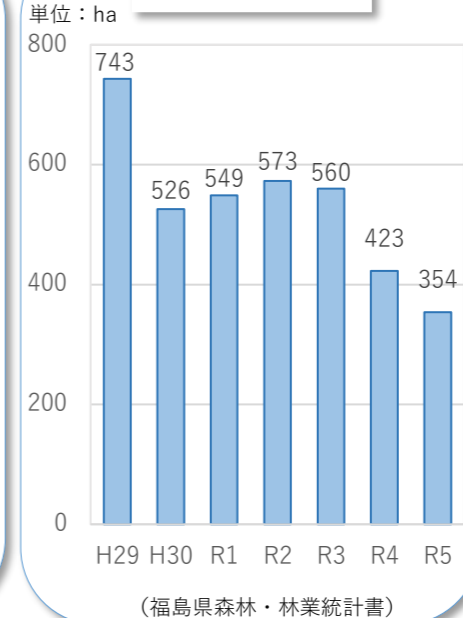
区分		地区(路線)名	内容
林道	林業専用道	永井川前線	工事：W=4.0(5.0)m、L=830.16m
		合戸渡戸線	委託：W=3.0(3.6)m、L=2,170m
治山	保育	新舞子ほか	森林整備：6.40ha
	保安林改良	北谷地	森林整備：0.94ha
	機能強化・老朽化対策	成沢	委託：ボーリング洗浄、調査・設計
	治山施設	薄磯三丁目	工事：山腹工A=0.13ha、補償
		五郎兵衛釜	工事：谷止工N=2基、補償
		川向	工事：山腹工A=0.07ha
船付、南作、スス原		委託：測量設計	

3 取組状況

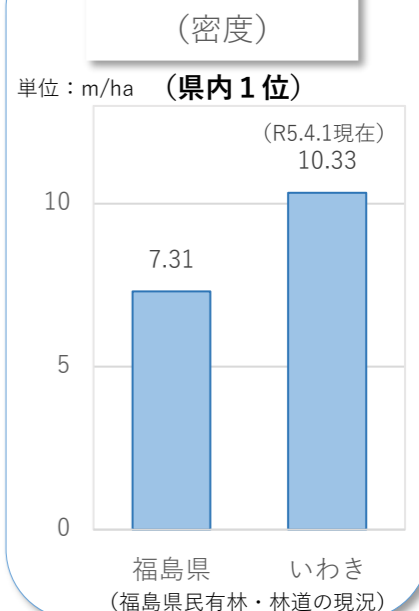
素材生産量



私有林間伐面積



林道路網整備状況




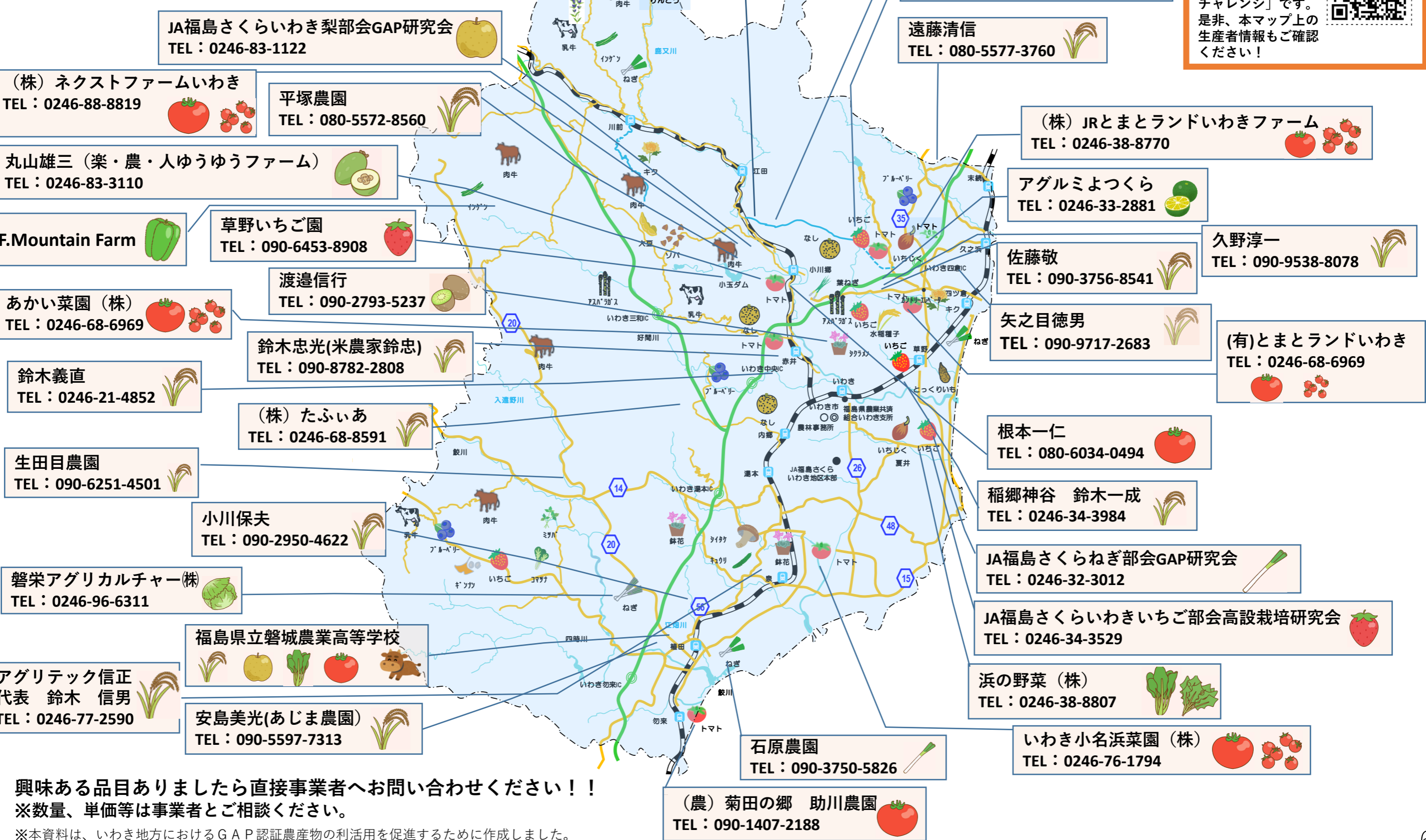
いわきにおけるGAP認証農産物供給可能農場マップ

いわき農林事務所
令和8年3月31日現在

GAPって何？

GAPとは、農業において、食品安全、環境保全、労働安全を3本柱に、定められた基準に沿って各農場毎のルールを決め、実行・記録・検証する取組のことで、
「GAPをする」とは、農業者がGAPを自ら実践することで、「GAP認証をとる」とは第三者機関の審査により、GAPが正しく実践されていることが確認されることです。本マップの生産者はすべて、GAP認証を取得した生産者です。

右記二次元コードは、県内のGAP認証を取得している生産者の情報が掲載されている「ふくしま。GAPチャレンジ」です。是非、本マップ上の生産者情報もご確認ください！

興味ある品目ありましたら直接事業者へお問い合わせください！！
※数量、単価等は事業者とご相談ください。

※本資料は、いわき地方におけるGAP認証農産物の利活用を促進するために作成しました。

福島県いわき農林事務所組織図

組織体制と主な業務内容

2026(R8)年4月1日

所長

次長

市外局番：0246 【所在地】〒970-8026 福島県いわき市平字梅本15番地 県いわき合同庁舎3階

総務部

FAX:24-6159

総務課

TEL:24-6187

人事、服務、研修等／情報公開／収入・支出事務／入札・契約／危機管理

品質確保、
技術管理業務

農林土木工事の技術力・品質確保

企画部

FAX:24-6196

地域農林企画課

TEL:24-6152

地域農林業・農山村振興の企画・調整／各種情報収集・発信／地域産業6次化／地産地消／食育／農業団体等の指導監督／農地転用・農振除外等許認可／食品表示の適正化

農業振興普及部

FAX:24-6196

農業振興課

TEL:24-6160

農業経営基盤強化促進対策／補助・奨励事業／水田農業推進／畜産経営基盤強化推進／農畜産物の流通・販路拡大／農業金融／中山間地域等直接支払／特定家畜伝染病対策

地域農業推進課

TEL:24-6161

普及指導計画／集落営農の推進／中山間地農業の振興／経営所得安定対策／農業の6次産業化／青年農業者育成／スマート農業の推進／耕作放棄地対策／鳥獣被害対策／女性農業者育成

経営支援課

TEL:24-6162

認定農業者の育成／環境と共生する農業の推進／農業気象・農業災害対策／農産物の県モニタリング検査支援／GAP認証取得支援／就農促進・就農相談

農村整備部

FAX:24-6949

管理課

TEL:24-6182

土地改良事業の法手続き／土地改良財産の管理・処分／土地改良資金の融資／換地業務／砂利採取計画認可／用地取得・補償・登記／多面的機能支払交付金／農育の推進

農村整備課

TEL:24-6184

ほ場整備・農地中間管理機構関連／農道整備・広域農道／農地防災事業／水利施設の更新・長寿命化対策／事業の調査計画／農地・農業用施設災害復旧／国土調査

森林林業部

FAX:24-6179

林業課

TEL:24-6192

林業事業体の育成強化／林業担い手育成／緑化の推進／木材産業の振興／林業金融／特用林産の振興／林産物一般の放射性物質検査／森林の整備／森林病虫害等の防除／県営林の管理／森林保全巡視／森林保険／林野火災の予防

森林土木課

TEL:24-6195

山地災害の防止・復旧／保安林の管理等／治山施設管理／林地開発の調整等／海岸防災林／林道の整備／林道災害復旧／林道台帳

【当所HP】



【URL】 <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36270a/>